

事件発生日：2009年3月20日 深夜0時頃

事件概要：

目黒の会社員宅に強盗が侵入。居合わせた夫を刃物により腹部を刺し殺害、また子の姉弟も切りつけ重症を負わせ、金品を奪い逃走した。後日、横山俊彦(39)を強盗殺害の容疑で逮捕。横山は取り調べで犯行を否認していたが、その日5回目の取り調べ中に暴れた後、担当の男性刑事により確保。そのまま犯行を自供した。しかし、起訴前に横山は心臓麻痺で死亡。キラによる殺害が疑われた。

だが後日、誤認逮捕であることが判明。

本件について、自供を強要した違法な取り調べの疑

いが指摘された。

以下は調査の記録である。

目黒強盗殺人事件 取り調べ調査結果：

当日の取り調べ担当刑事(所属：目黒警察署)

- 太田克典 巡査(29/男)
- 熊川佳菜子 巡査(31/女)
- 藤原陽平 巡査(26/男)
- 小沢翔太 巡査部長(42/男)

違法な手段により自白強要が行われた。当日は複数回の取調べがあり、それぞれ1対1で行われた。その日取り調べを2回担当した刑事が違法な取り調べを行ったと考えられる。

当日、取り調べを行った順番は不明だが、以下の証言が得られた。

太田：私が最初に取り調べをしたんだ。その後は翌朝まで外に出ていたのでわからないが、次は藤原さんだった。

小沢：記憶が曖昧なんだけど、藤原か熊川の前に取り調べを行ったよ。その取り調べが終わった後は、ずっと太田が張り込みしている現場に同行していた。

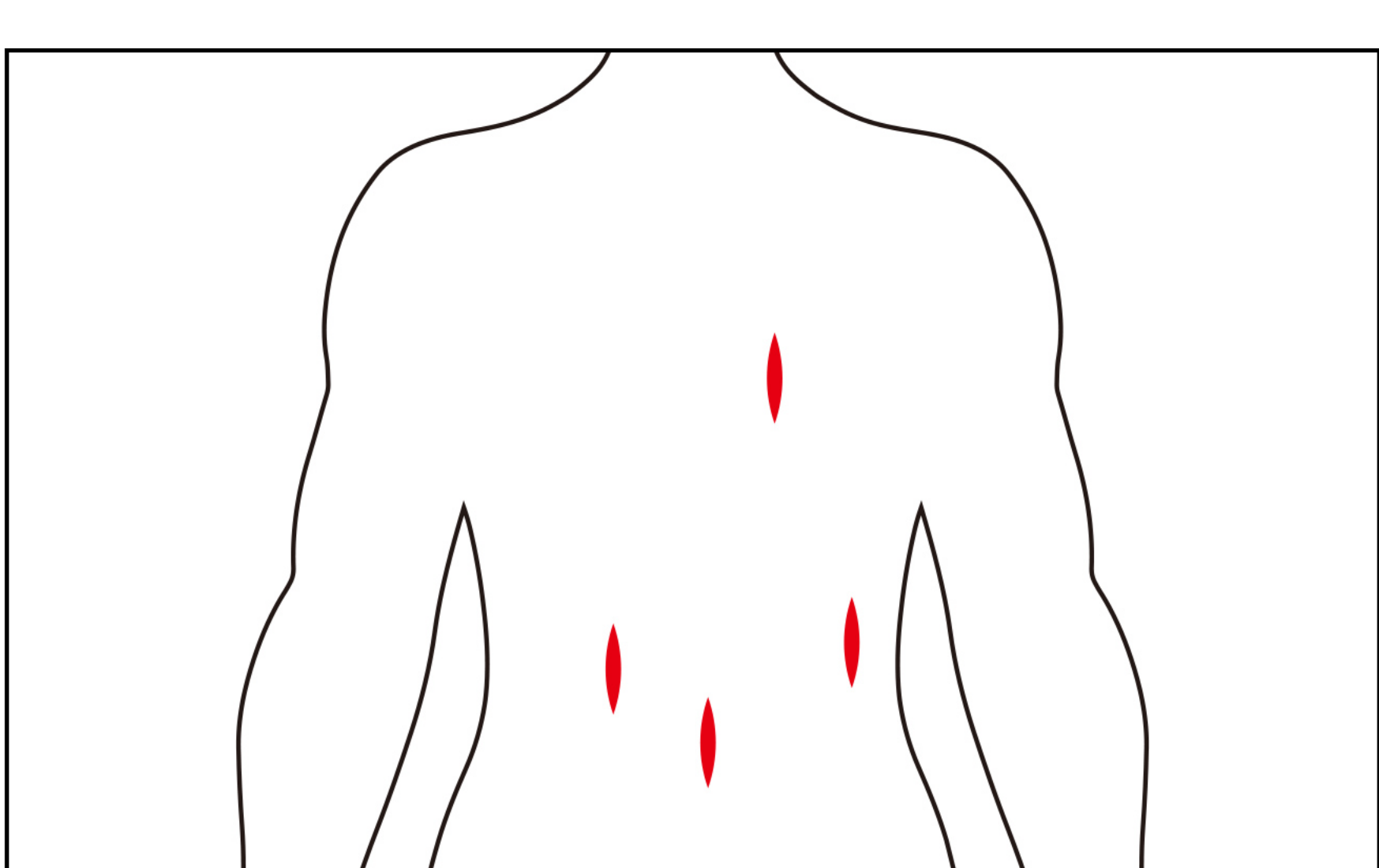
藤原：その日は5回取調べが行われたと聞いています。同じ担当者が連続して取り調べをしている可能性もありますね。

熊川：小沢さんのすぐ後に取調べを行ったのは私です。

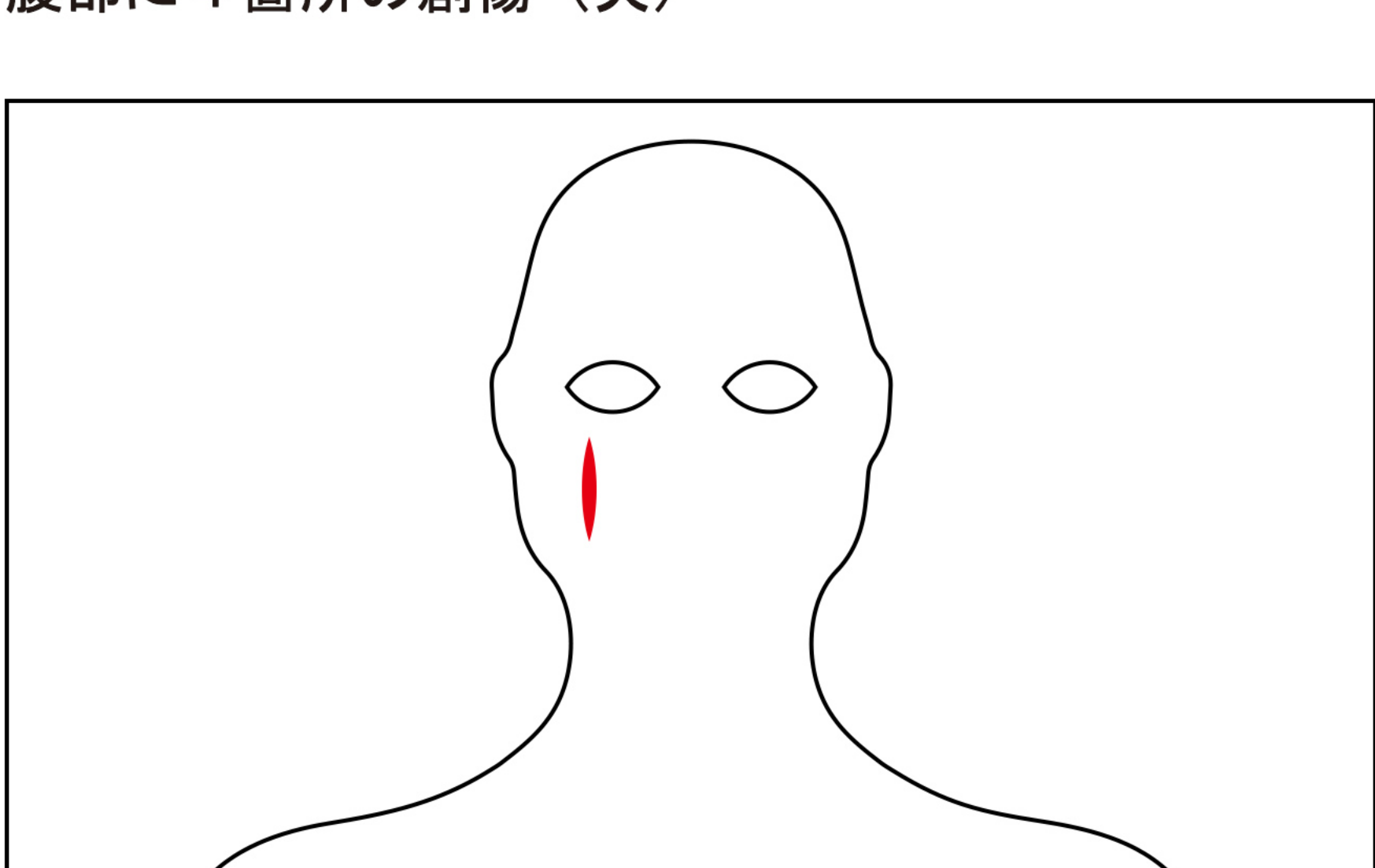
※発言はすべてポリグラフ検査下で行われており、嘘は含まれていない。

本件報告：

以上の調査から、自白強要は■■■■(人名)と判明したが、上層部からの指示により本件は不問とされた。なお、■■■■は以前の所属警察署の関係者からの指示と供述しているが、詳細は不明である。なお、死亡した事件の被害者は警察官であり、また子の姉弟のうち弟は切りつけられ顔に裂傷を負った。二度と痛ましい事件が起きないことを願ってやまない。



腹部に4箇所の創傷(夫)



右頬に裂傷(子/弟)